

4月度木曜例会（2017年04月06日）

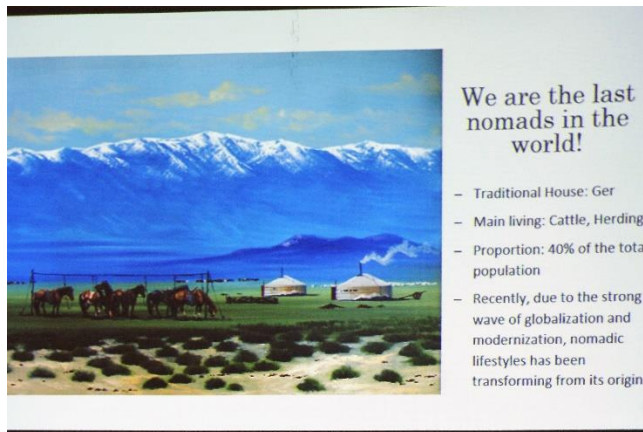
モンゴルとその首都の持続可能な交通手段

今回はランチ交流にも参加して下さったトゥカさん（Delgerekh Tuvshin）をゲストスピーカーにお迎えしました。立命館大学で政策科学の勉強をしておられます。今回のテーマもまさしくその研究に沿ったものです。趣味は喫茶店巡り、写真（モンゴルでも流行っている）、旅行、だそうです。

ここ15年程の間に急速に発展をし、人口集中問題を抱える事になったモンゴルの首都ウランバートル。そこで生まれ育ったトゥカさんの楽しいお話を聞き、会員からもたくさんの質問が出ました。海が無く、草原の地平線しか知らなかったトゥカさん。初めて見た海はちょっとコワかったそうです。近代化により遊牧民としての伝統文化などが失われるつつあるのは残念な事。先進国でありながら古い伝統を守っている日本は素晴らしいと思って下さっています。



「5W1H」を柱として、以下のお話が続きました。

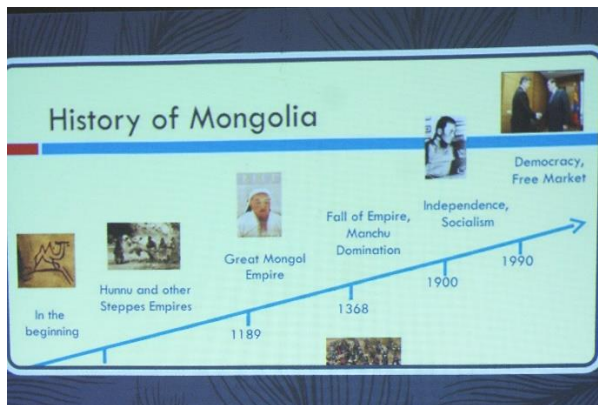


モンゴルの国土面積は日本の4倍。人口は日本の1/40（少ない！）。現在その全人口の約半分が国土面積たった0.3%の首都に住んでいる。

四方を他国に囲まれているので海が無い。モンゴル文字はロシア文字に似ている。

モンゴル族が96%。残りがカザフ族。全くの異文化で言葉すら違う。仏

教徒が50%。無宗教が40%。未だにシャーマニズム（祈祷や占い、日本で言うイタコ？）も残っている。遊牧民は40%だが急速な近代化の為生活形態も変化し（馬からモーターバイクへ。ソーラー電力など）、人数も減っている。主に羊肉を食べているみたいに思われているが実は牛肉である。日本の様に伝統を守り伝えていきたいのだが、シカタナイ。。



偉大なるモンゴル帝国時代から中国支配下へ、鎖国時代も経て、1921年独立。

(共産主義のロシアからの影響を受けながら一人の犠牲者も出さずに民主主義国として独立)

近代化に伴い良い面も悪い面もある事は避けられない。都市集中や貧富の差。

国民のチンギスカンへの尊敬や誇りは

とても強い。

欧米系アジア国という認識があり、ロシアからの影響から民主主義は不安定。

急激な都市化によりウランバートルは生活の便利さを得た半面、同じような急速発展を遂げた国と同様にたくさんの問題を抱える事になった。今も、これからも、都市への人口流入は続く。

経済は、主に銅産出国であるが価格低下していて、起業化の波も。若者ファッションも日本とあまり変わらない気がする。



新モンゴル高等学校について。トゥカさんはこの学校の卒業生です。日本式の教育システムをまるごと採用した高校。日本人とモンゴル人との援助協力により作られた。日本語はもちろん、柔道や剣道も学べる。日本の大学への進学も。日本の大学生になった人たちが卒業生で年一回イベントを開催して奨学金に充てたりもしている。

トゥカさんの専門研究は維持可能な都市開発。急激な都市化によりウランバートルの交通事情は問題を抱えている。非常に困難きわまる国民全体の課題である。ずさんで未熟な都市計画による渋滞や事故、空気汚染。そこで将来的にもローコストで安全で誰にも使いやすい自転車による交通手段によって解決出来ないものかと研究中である。モンゴルの気候（冬は零下20度はあたりまえ）や経済事情、政治事情、様々な解決策が必要だ。

Q&A

1、 新モンゴル高等学校を選んだ理由は？

姉からの推薦。すでに学校で日本語を勉強していて、日本の大学に進学したかった事も決め手になった。

2、 無宗教の人口も多いですが、お葬式などはどのように？

ゆるやかな信仰であり、土葬である。

- 3、 アシスト自転車が良いのでは？
年寄りや女性には便利だと思うが、コスト面や安全性（免許制度なども必要だし）を考慮すると、やはり足漕ぎ自転車を選ぶ事になる。
- 4、 近代化以前の交通手段は？
バス、ミニバス、（乗り合い）タクシー。個人の車をタクシーの様に利用したりも。
- 5、 地下鉄とかはどうですか？
随分前から話はあるが経済的に自国だけでは無理。自転車を推奨している理由も経済的理由によるものだ。
- 6、 チングスカンのお墓はどこに？
遺体は未だ見つかっておらず、色々な伝説があって、謎である。
- 7、 公害の点から言っても自転車のアイデアは素晴らしいと思う。実現化は？
市長の薦めとかが必要。まだ道路の安全面が確保されてない。専用レーンを作る必要がある。
- 8、 自転車利用率はどれくらい？
だいたい3%ほど。しかも暖かい夏だけ。冬はゼロ。しかし増加傾向である。
- 9、 モンゴルと言えば相撲が強いですが・・・
日本の相撲のように神への奉納とかの意味は無く、単なるスポーツ。
白鵬の父親もモンゴル相撲の選手だったから遺伝子かな？日馬富士は高校の先輩で彼と校長とが第二モンゴル高等学校建設を計画中である。
- 10、 自転車計画に伴って都市計画も必要では？
難しい問題である。急速な都市集中化の解決策として郊外分散する事が必要だ。
- 11、 初めて日本へ来た時の印象は？
暑くて湿気が多くて温泉に居ようだった。日本人は英語をあまり話さないと思っていたが、今日はみんな英語を話すので驚いています。
- 12、 自転車は国内生産をしていますか？
いいえ、中国や韓国から輸入してます。日本製は高価ですね。
- 13、 日本では「スーホーの白い馬」と言うモンゴル民話が良く知られていますが？
日本に来てから知りました。